

平成22年度事業報告

平成22年度事業においては、都市地域住民の過疎地域に対する理解を深めるとともに、過疎地域の自立促進に向けた取組を総合的に支援するため、次のような広報活動事業を実施した。

1 広報活動事業

(1) 過疎総合情報誌「DePOLA（でぼら）」の発行

(財団法人日本宝くじ協会助成事業)

多くの人たちが過疎地域を理解し、交流が進むことを目的に過疎地域から都市部地域への情報提供、過疎地域相互間の情報交換の媒体として、過疎総合情報誌「でぼら」(DePOLA=Depopulated Local Authorities からのネーミング)を作成し、全国の図書館をはじめ都市部の一般住民等に広く配布した。

秋冬号(39号) (特集) 交流 協働で地域を元気に

春夏号(40号) (特集) 夢を紡ぐ 地域伝統のものづくり職人

配布先 全国の図書館 大学、マスコミ、研究機関、都道府県 市町村、都市部住民等

(2) ホームページ「過疎物語(kaso-net)」の充実

(財団法人全国市町村振興協会助成事業)

過疎地域に関する情報サイトとして「過疎物語(kaso-net)」を運営するとともに、全国への情報発信及び過疎地域相互の情報交換の機能を強化するなど内容の充実を図った。また、このホームページの普及増進のため、動画サイトで新たに紹介した過疎市町村(7ヶ所)の映像を収めたDVDを作成し、配布した。平成22年度のアクセス数は約4万4千件で、累計アクセス数は40万件となった。

(3) 交流居住優良事例集の作成

(財団法人日本宝くじ協会助成事業)

近年の交流居住への都市住民のニーズに応えるとともに、地域間交流により過疎地域をはじめとする地方の活性化を支援するため、交流居住に積極的に取り組む25の事例を選定し、地方自治体の活動内容や実践者の生の声を収めた事例集を作成し、都市住民や全国の自治体等に配布した。

題名 交流居住の先進自治体事例集

「田舎暮らしのススメ5」

配布先 都市住民、全国の都道府県、市区町村、国会、関係省庁

(4) 都会と田舎の交流居住サポート事業の実施

(財団法人全国市町村振興協会助成事業)

都市と田舎の交流居住さらには田舎への定住が促進されることにより、都市住民の受入側である過疎地域等の活性化が図られることから、田舎との交流居住や定住を求める都市住民に対し、インターネットを活用した情報発信や電話相談窓口の設置を行って様々な照会、相談に応じるなど、交流居住の推進を図った。

ア ポータルサイトによる情報提供、メールマガジンの発行

交流居住に関するホームページを開設している全国の主として過疎市町村の参加を得て、交流居住に関する様々な情報（地方自治体における生活関連情報や滞在施設、体験プログラムなどの情報、田舎暮らしのノウハウ）をポータルサイト「交流居住のススメ 全国田舎暮らしガイド」を通じて提供した。

平成 23 年 3 月末の登録状況は 607 団体、平成 22 年度中のアクセス数は、約 11 万件で、累計アクセス数は 82 万件となっている。

また、先進自治体紹介、移住 定住者等からの便り、イベント情報等を掲載したメールマガジン「交流居住通信～田舎で暮らそうネット～」を全国の一般住民等に配信した。

イ 相談窓口の設置

ポータルサイトやメールマガジンの閲覧者からの電話やメールでの相談、交流居住に関する一般住民からの問い合わせや自治体からのポータルサイトの運用に関する照会等に対し、相談窓口を設置して、最新の情報等をもとに適切な助言を行った。